

# 9月は世界アルツハイマー月間です

## 認知症を正しく理解し、早期発見・治療に努めましょう

### 世界アルツハイマー月間とは

アルツハイマー病は、認知症の原因疾患のおよそ半分を占める病気です。病気の本人や家族がより良く生活できる施策の充実を目指して活動を行っている国際アルツハイマー協会が、「世界アルツハイマー月間」を提唱しました。

「9月21日」はアルツハイマーデーと制定されており、世界各国でさまざまな啓発活動が行われています。日本でも各地の城やタワー、ランドマークがシンボルカラーであるオレンジ色にライトアップされます。

### 認知症とは

認知症は、誰にでも起こりうる脳の病気によるもので、65歳以上の約7人に1人と推計されています。アルツハイマー病やレビー小体型認知症、脳卒中などさまざまな原因で、脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったために記憶力や判断力に障がいが起こり、日常生活に支障が出ている状態を指します。

「加齢によるもの忘れ」と「認知症によるもの忘れ」は違います

●加齢によるもの忘れ  
脳の生理的な老化によるもので、年齢を重ねると物覚え

問長寿介護課 ☎448

が悪くなったり、物の名前が思い出せなくなる(食べたものが何だったか忘れていたり、目の前の人の名前が思い出せないなど)。

### 認知症によるもの忘れ

●認知症によるもの忘れ  
脳の病気によるもので、体験したことを丸ごと忘れてしまう(食べたこと自体を忘れていたり、目の前の人が誰か分からないなど)。

### 認知症は、早期診断・治療が大切です

●治療による改善が期待できます  
正常圧水頭症や慢性硬膜下血腫、甲状腺機能低下症など原因となる病気を治療することで症状が改善することがあります。

●進行を遅らせることができます  
早期ほど薬で進行を遅らせることができ、生活習慣病の改善で、進行予防が行えるものもあります。

●記憶や意識が明確なうちに備えることができます  
病気が理解できるうちに受診し、理解を深めていくことで、生活上の障がいを軽減でき、その後のトラブルを減らすこともできます。

### 認知症検診を実施しています

医療機関に備え付けてある「脳の健康度チェック票」に

表1

| 名称          | 日時  | 場所・連絡先  | 参加費        |
|-------------|---|---|------------|
| はなももカフェ     | 原則毎月第3土曜日<br>午前10時～正午                     | 東部地域包括支援センター<br>やしお苑(南川崎210-1)<br>☎998-8895           | 1人<br>100円 |
| ヤシオンカフェ(新設) | 10月1日(日)開始<br>(以降、原則毎月第1日<br>曜日)午後1時～3時   | 西部地域包括支援センター<br>ケアセンター八潮<br>(鶴ヶ曾根1184-4)<br>☎994-5562 |            |
| 思い出喫茶(新設)   | 10月22日(日)開始<br>(以降、原則毎月第4日<br>曜日)午前10時～正午 | 南部地域包括支援センター<br>埼玉回生病院(大原455)<br>☎999-7717            |            |
| オレンジカフェ     | 原則毎月第4金曜日<br>午前9時30分～11時30分               | 北部地域包括支援センター<br>やしお寿苑(八条294-4)<br>☎930-5123           |            |

表2

| 名称                   | 住所         | 電話        | 担当地域   |
|----------------------|------------|-----------|--|
| 東部地域包括支援センターやしお苑     | 南川崎210-1   | ☎998-8895 | 二丁目、木曾根、南川崎、伊勢野、八潮1～7丁目                            |
| 西部地域包括支援センターケアセンター八潮 | 鶴ヶ曾根1184-4 | ☎994-5562 | 小作田、松之木、中馬場、上馬場、西袋、柳之宮、南後谷、中央1～4丁目、緑町1・2・4丁目、八潮8丁目 |
| 南部地域包括支援センター埼玉回生病院   | 大原455      | ☎999-7717 | 大瀬、古新田、坊、大原、浮塚、大曾根、大瀬1～6丁目、茜町1丁目                   |
| 北部地域包括支援センターやしお寿苑    | 八条294-4    | ☎930-5123 | 八条、鶴ヶ曾根、八潮団地、伊草、伊草団地、新町、緑町3・5丁目                    |

参加・交流できる、集いの場です。

市では、10月より、これまでの東部圏域・北部圏域の2カ所に加え、新たに西部圏域・南部圏域の2カ所でオレンジカフェを開設します(表1)。ゆったりお話しをしたり、情報交換しましょう。どうぞお気軽にお越しください。

### 生涯学習まちづくり出前講座「認知症サポーター養成講座」

「認知症サポーター」は、何か特別なことをするのはなく、認知症について正しく理解し、偏見をもたず、認知症の方や家族を温かく見守り、安心して暮らせる地域をつくるための応援者です。認知症サポーター養成講座を受講した方には「オレンジリング」と「埼玉県認知症サポーター証」が授与されます。

### オレンジカフェ

オレンジカフェ(認知症カフェ)は、認知症の方や家族、地域の方や専門職の方などが、

市内在住・在勤・在学の5人以上の団体  
費無料



### 相談は地域包括支援センターへ

地域包括支援センターは、高齢者が、住み慣れた地域でその人らしい生活を続けることができるよう、介護、福祉保健、医療などがいろいろな面から支援を行う総合相談機関です。「悩み」「疑問」「困ったこと」などありましたら、地域包括支援センター(表2)へご連絡ください。

## ペットは愛情と責任をもちて飼いましょ

9月20日から26日は「動物愛護週間」です。動物の愛護と適正な飼い方についての理解と関心を深めるため「動物愛護週間」が設けられています。近所とのトラブルを避けるため、ペットを飼う前にその習性を良く調べ、次のことに注意して最後まで面倒をみるようにしましょう。

問環境リサイクル課 ☎235

### 犬のフンの始末は飼い主の義務です

散歩時の犬のフンの始末は飼い主の大切なマナーです。また、犬のフンの処理は県の条例により飼い主に義務づけられています。犬のフンは必ず持ち帰りましょう。

### 犬はつないで飼いましょ

犬の放し飼いは、かみつき事故やフンなどの後始末の問題で地域住民とトラブルの原因となるだけでなく、犬自身が交通事故に遭う危険性や迷い犬になる可能性も含まれています。「うちの犬は大丈夫」という過信は絶対にやめ、犬はつないで飼いましょ。また、散歩時も、リード(引き綱)でつないで散歩しましょ。

### 狂犬病予防注射について

飼い犬は、狂犬病予防法に基づき登録を行い、年に1回、狂犬病予防注射を受けましょ。猫は室内で飼いましょ。猫は欲求を満たす環境を整えてあげれば室内飼育でも十分暮らすことができます。猫を外で飼うことは、交通事故や感染症、他の猫とのケンカなど、さまざまなリスクがあります。また、猫の排泄

による悪臭被害や人の車を傷つけてしまうといった財産被害を引き起こし、近所とのトラブルの原因になる場合もあります。

▼ペットを捨てないで  
家族の一員として責任をもって飼うようにしましょう。どうしても飼う事ができなくなった場合は、新しい飼い主を探しましょう。

なお、飼っている動物が繁殖し、世話が行き届かなくなる恐れがある場合には、避妊・去勢手術についても検討しましょ。

▼野良猫にエサを与えるにはルールがあります  
猫は1年に2～3回妊娠し、1回に4～8匹出産します。野良猫にエサを与えると、多くの猫が周囲に集まり、繁殖し、結果的に交通事故や病気の危険にさらされる不幸な猫を増やすこととなります。エサを与えるならば、近所の理解を得るとともに、避妊・去勢手術の実施やえさの後始末、フンや尿の後始末を行いましょ。

